

Botrytis 属菌によるイチジク結果母枝の枝枯れ症状

梶谷裕二・山中正博・*野方 仁 (福岡県農業総合試験場・*福岡県京都普及所)

Yuuji KAJITANI, Masahiro YAMANAKA and Hitoshi NOKATA : Occurrence of Dieback on Fig Bearing Shoot Caused by *Botrytis* sp.

数年前より、福岡県内のイチジク園で、冬期(12月～3月)に結果母枝の一部が褐変後、病斑部から先が枯死する症状が発生し、問題となっている。イチジクの病害の中で、冬期にこのような病徴を示す病害は未報告であることから、その原因を明らかにするため、病斑部から菌の分離を行い、病原性の確認及び病原菌の同定を行ったので報告する。

1. 試験方法

1) 病徴の観察：現地圃場の被害枝及び採集した被害枝について、病徴の肉眼観察を行った。

2) 病原菌の分離：病斑部皮層下の褐変組織を、常法により PDA 培地上で分離・培養した。

3) 病原性の確認：高率に分離された *Botrytis* sp. 菌を PDA 培地で4日間培養し、その含菌寒天ディスクをイチジク幼木の結果母枝に有傷接種した。

4) 病原菌の同定：病原性の確認された菌について、培養性状、分生子柄、分生子柄の形態及び菌核の有無について観察した。

5) 病原菌の温度別生育速度：イチジクより分離した *Botrytis* sp. 菌と発酵研究所より購入した *Botrytis cinerea* の基準菌である IFO-30915 菌との温度別生育速度を比較した。

2. 結果及び考察

1) イチジク結果母枝の先端や中間部が赤褐色に褐変後、病斑部から先が萎凋、枯死するのが典型的病徴であった。また、病斑部の皮層下には果梗残存部を中心に紡錘形の褐変が広がっていた。

2) 病斑部からは *Botrytis* 属菌、*Botryosphaeria* 属菌及び *Phomopsis* 属菌等が分離され、その中でも *Botrytis* 属菌の分離率が最も高率であった。

3) 被害枝から高率に分離された *Botrytis* 属菌の接種3週間後には同一の病徴が再現され、病斑部からは *Botrytis* 属菌が高率に再分離された。

4) 接種により病原性が確認された *Botrytis* 属菌は初め白色で後に灰白色となり、試験管壁に黒色の固着器を形成した。また、大きさ3～5mmの黒色の菌核を形成し、これらの菌核上には多数の分生子柄及び分生子を形成した。分生子柄は長さ2mm以上に達し、先端は樹枝状に分岐しており、分岐した枝には卵形～倒卵形の分生子が房状に着生していた。また、分生子の大きさは7.4～11.8×6.5～9.4μmであり、大きさから推定すると *B. cinerea*, *B. allii* または *B. bysoidea* に最も近い菌と考えられた。しかし、*B. allii* 及び *B. bysoidea* は培地上で菌核を形成することはまれかまたは形成しないとされているので¹⁾、大きさ3～5mmの黒色の菌核を形成する本菌は *B. cinerea* に最も近い菌と考えられた。

5) 接種により病原性の確認された *Botrytis* 属菌と IFO-

30915 菌の温度別生育速度を比較すると、両菌とも生育適温は20°C前後で、各温度における生育速度はほぼ一致した。

以上の結果、本菌は *Botrytis cinerea* に最も近い菌と考えられたが、現在までのところ他の作物に対する病原性等を検討していないので、当面は *Botrytis* sp. と同定する。なお、これまで *Botrytis* 属菌によるイチジク結果母枝の枝枯れ症状は未記録であることから、今後、本病の感染時期及び防除対策について検討していきたいと考えている。

引用文献

- 1) 高桑 亮・斉藤 泉・谷井昭夫・田村 修：北海道立農試集報, 29, 1-6, 1974.

第1表 イチジク結果母枝の枝枯れ症状発生部位から分離された糸状菌

調査地点	分離切片数	各種糸状菌の分離率 (%)			
		<i>Botrytis</i> sp.	<i>Botryosphaeria</i> sp.	<i>Phomopsis</i> sp.	その他
厚川町井無田	24	70.8	0	0	8.3
豊津町吉岡	24	58.3	33.3	0	4.2
豊津町下原1	24	58.3	0	4.2	0
豊津町下原2	24	41.7	0	25.0	20.8
豊津町船見	8	100.0	0	0	0
行橋市新田原1	24	0	100	0	0
行橋市新田原2	8	37.5	0	0	12.5

注) その他: *Fusarium* sp., *Alternaria* sp., *Penicillium* sp.

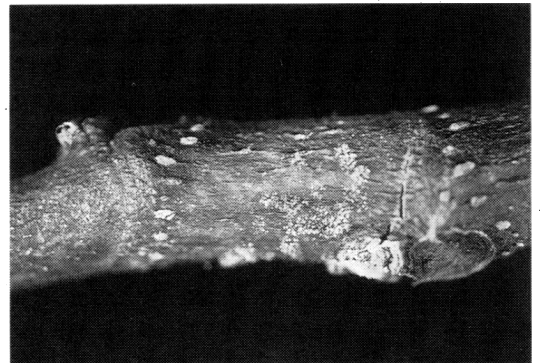


写真1 *Botrytis* sp.によるイチジク結果母枝の枝枯れ症状

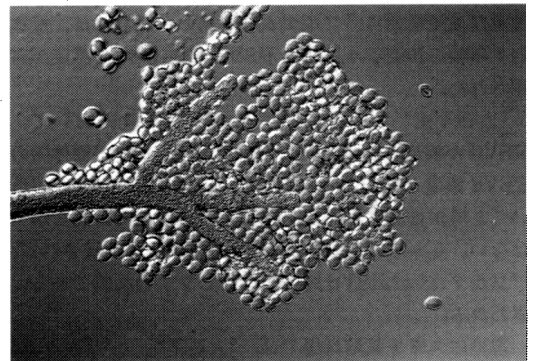


写真2 病原菌 (*Botrytis* sp.) の分生子柄と分生子